

仲間への声かけは、たたかいの確信に！ 愛知18年春闘討論集会開く すいとびあ江南

1/13-14、愛知県本部は、愛知県江南市（すいとびあ江南）に於いて、県本部 18 年春闘討論集会を開催し、大幅賃金の引上げ、労働条件の改善、安倍改憲ストップ運動の推進に向けて意思統一を図りました。

1 日目は、和渕委員長のあいさつ後、参加者から自己紹介と職場の要求課題問題を出し合いました。特別講演では「今日の情勢の特徴と 18 年春闘をめぐっての労働組合の役割～職場に社会に、働く者の力を」と題して、愛知学習協、吉田会長から講演を受けました。

2 日目は、谷藤書記長から県本部の 18 年春闘方針案と具体的行動の提起が行われ、理解を深めるための討論を行いました。県本部は他県にない、多業種産別の組合となっていて学童、保パ、トラック、労職、重機、鉄道、環境などからたたかいの取り組みや経験など、発言が活発に行われました。学童支部の新井さんは、全労連の提起した、「総がかり組織拡大運動」での、「仲間増やしの運動で、仲間への声掛けは、自らの運動を改めて見つめ直し、拡大への自信とたたかいの確信につながった。さらに頑張る」と決意されるなど貴重な活動の経験など発言も出されました。また、全業種から春闘推進、組織拡大、業種別運動の強化や職場での運動に取り組む発言など出されました。討論進行は、学童の田村、保パの長縄両副委員長で行われました。2 日間で延べ 52 人が参加し、安倍改憲ストップ 3000 万署名取組みの意思統一も行いました。



春闘方針提起・谷藤書記長



討論・田村、長縄副委員長

愛知トラック部会第29回総会

50名の組織拡大と2・25 トラックパレード春闘決起！

1/13、愛知県トラック部会第 29 回総会を江南市（すいとびあ江南）に於いて、午前 10 時より開催しました。総会では、活動報告を谷藤事務局長が行ない、18 年運動方針案については、愛知トラック部会・上江洲部会長より提起されました。トラック運転手の免許制度の問題などあり、有効求人倍率はうなぎのぼりとなっていて、愛知県では 4 倍以上となっています。

低賃金、長時間労働、人手不足、これらの問題がトラック運転手の課題となっています。私たちが取り組んできた適正運賃・料金の収受に向けたたたかいでは「書面化推進ガイドライン、下請・荷主適正取引推進ガイドライン」の改正も昨年 8 月から行われて来ています。また昨年 7 月施行の「荷待ち時間・待機時間」を含む乗務記録など、運輸業界の状況は大きく変化してきています。業界の秩序改善にむけ、トラック部会が果たす役割は大きくなっているとし、年間 50 名以上の組織拡大や当面する 2・25 春闘決起のトラックパレードの成功へ向け意思統一を図り、役員体制も確立しました。

トラック部会第29



方針提起・上江洲部会長